



丹波篠山で**農**の実体験から学ぶ!

実践農学入門

農学を学ぶなら
農を知れ!

2023年度 履修生募集

【説明会】 4月10日(月) 12:30～13:00

農学部B101教室

< 募集人数 > 35名 (応募者多数の場合抽選)

< 対象 > 神戸大学1～4回生

< 実施場所 > 丹波篠山市 雲部(くもべ)地区

【担当教員】 鈴木武志 (主担当)、中塚雅也、高田晋史、小川景司、八木浩平

実践農学入門とは？

一年間を通して実際の農家に弟子入りし、農業農村と持続可能性に関する基礎的な理解を得、農家等との交流を通じてコミュニケーション能力などの基礎的な実践力を養います

■ スケジュール(予定)

日程	内容
第1回 4月21日(金)	【大学】ガイダンス・事前学習
第2回 5月13日(土)	【現地実習】田植えと交流会
第3回 6月24日(土)	【現地実習】農家に弟子入り
第4回 7月15日(土)	【現地実習】農家に弟子入り
第5回 7月21日(金)	【大学】ワークショップ
第6回 10月21日(土)	【現地実習】農家に弟子入り
第7回 12月2日(土)	【現地実習】農家に弟子入り
第8回 12月15日(金)	【大学】ワークショップ
第9回 1月20日(土)	【現地】成果発表会

*6回の現地実習に加え、農村ボランティア(農作業のお手伝いや地域行事への参加1回以上)を義務としています

■ 履修までの流れ

1. 4月17日(月)13:00までに、以下のメールアドレスに必要事項を記入して送信してください。

送信先：ans_chiiki@sasayamalab.jp

- ・件名：「実践農学入門履修希望」
- ・本文に、以下の内容をめれなく記入すること。
 - ①学籍番号 ②学年 ③学部・学科・コース
 - ④氏名(ふりがな) ⑤性別
 - ⑥連絡用メールアドレス ⑦電話番号

※携帯電話のメールアドレスではなく、できるだけ学番メールを登録してください。

※質問等もこのメールで受け付けます

注：このメールによる申請が、履修者登録となります。
本科目については、うりぼーネットに
学生自身が履修登録する必要はありません。

2. 4月18日(火)17:00以降、履修可能かどうかを発表します。

- ・各申請者に、結果をメールで送信
- ・農学研究科 教務学生係掲示板にも掲示



<履修した学生の声>

- ・体験してみて、しんどそうだった農業のイメージが一変しました。地域の人にはあたたかく、農作業は楽しく、おいしいごはんも食べられて、何よりも達成感がすごい。実習前は思いもしなかったのですが、今となっては再訪したい気持ちでいっぱいです (H.K)
- ・私は農学部ではなく、農業の知識などもほとんどなかったので、参加しても大丈夫なのかという思いがあり、始まる前は不安だったのですが、農業の担い手の現象問題や耕作放棄地の問題などを解決するにはどうしたらいいのかということや、人と人とのコミュニケーションの場などを実際に考えることができる実習で、様々な面でたくさん関わらせていただくことができたので、よかったです (H.K)
- ・都会に住んでいては知れないことを多く知りました。田舎独特の風習、小規模農家の課題。それらを私は遠い昔のこと、今はもうないことだと思っていたので実践農学入門に参加しなければ知ることなかったと思います (N.H)
- ・農業は思っているよりもずっと楽しい。初めは種だった黒豆が行くたびに成長し、最後に自分たちで収穫できたのはとてもうれしかったです (H.K)

本科目の詳細を知りたい場合はこちらをチェック！



※提出される個人情報、受講者および受講希望者への連絡のみに使用します。